日本銀行門司支店

支店長社宅
社有地
社有地
道路
社有地
[illegible]
社有地
扇町新設道路
日本銀行用地
中村氏所有地

扇町道路延長線竣工之圖

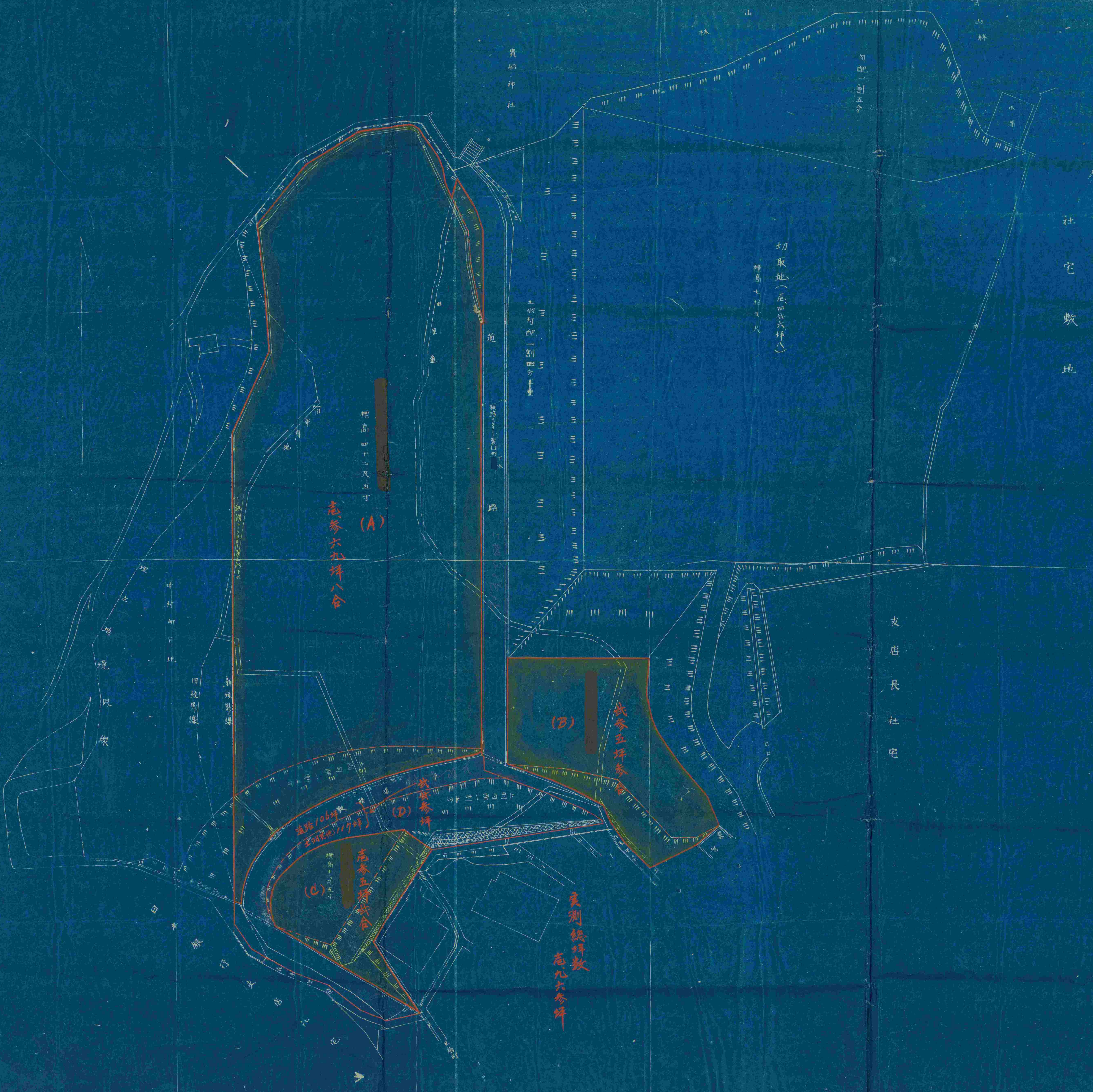
縮尺三百分ノ一

03-002

本村社宅埋立開鑿地實測啚

縮尺三百分之一

大正十二年四月



民有山林
社有山林
貴船神社
勾配一割五分
水溜
社宅敷地
切取地（壱四弐六坪八）
標高七拾弐尺
土羽勾配一割四分五厘
道路
旧里道
鉄筋コンクリート製凵形下水
市有地
標高四十二尺五寸
(A)
壱参六九坪八合
埋立地境界線
中村所有地
旧境界線
新境界線
(B)
弐参五坪参合
支店長社宅
墓地
土羽勾配一割五分
道路106坪数
土羽其他117坪
(D)
弐弐参坪
標高十八尺五寸
(C)
壱参五坪弐合
実測総坪数
壱九六参坪
日本郵船支店社宅
至扇町

03-003

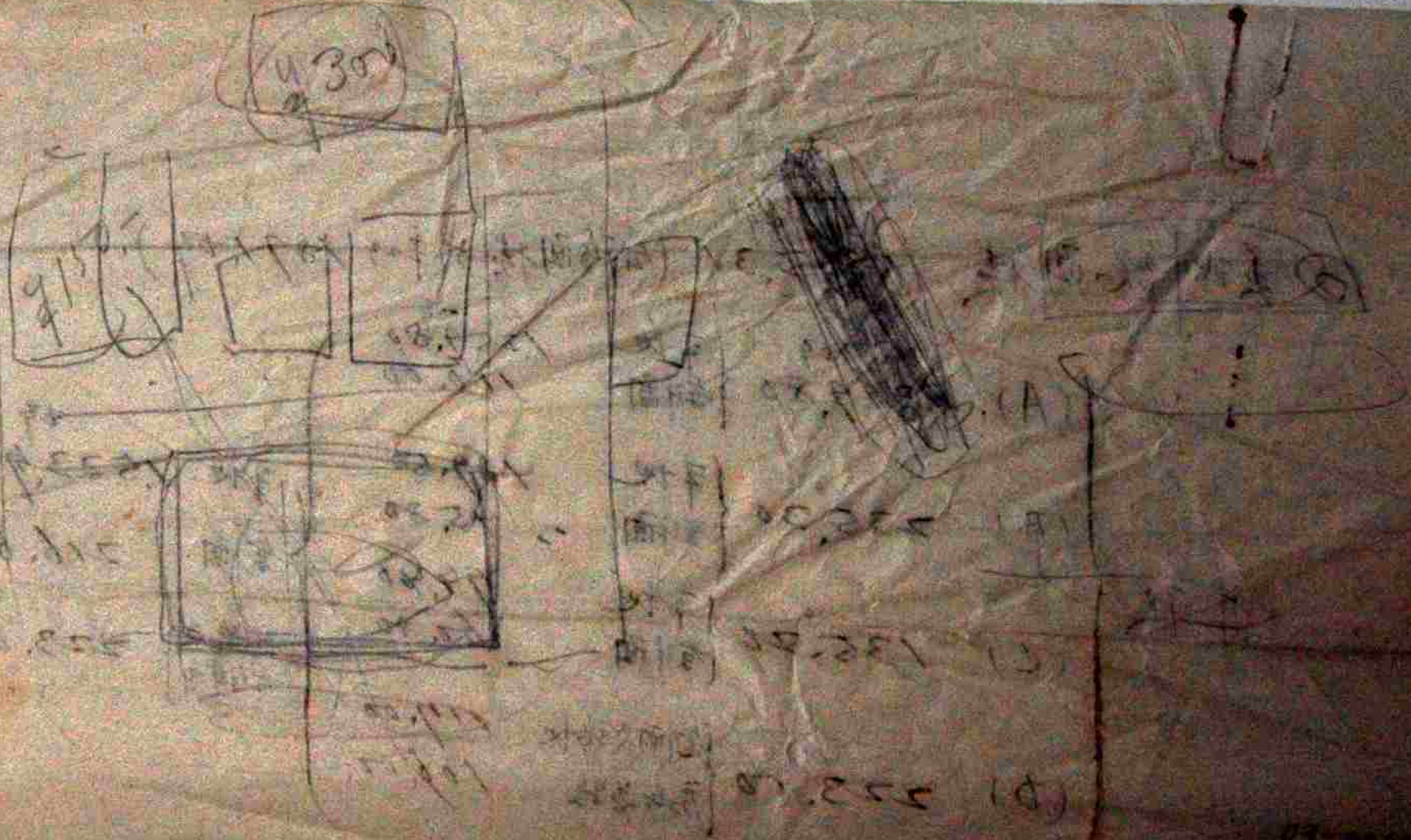
◎実測総面積 1,963.30坪（公簿面積 弐筆ノ分 1,891.坪）

内訳

(A)	1,369.80坪	平地	1,259.80坪
		斜面	110.00
(B)	235.30〃	平地	189.50
		斜面	45.80
(C)	135.20〃	平地	74.40
		斜面	60.80
(D)	223.00〃	斜面及端地	117.00
		扇ヶ道路	106.00

平地	1,523.70坪
斜面	216.60
道路及 全斜面	223.00

03-004

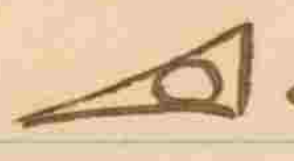


4300

當所ニ於テ調査セシ要陸表

04-001

實際取調表

数量	單位	名稱	單價	小計	摘要
1	式	遣形及足代		25 — 21 —	4 —
7 600 6 000	立坪	根切 跡埋地均共	2 —	15 200 12 —	3.20
1 300 800	〃	割栗地形	12 —	15 600 9 600	6 —
1 200 1 100	〃	コンクリート 調合 セメント 1. 石灰 1. 砂 6. 砂利 12.	42 —	50 400 46 200	4.20
27 400	4本	煉瓦	14 —	383 600	
2 000	〃	腰巣黒煉瓦	22 —	44 —	
29 400	〃	煉瓦積手間 表積化粧目地共	3 500	102 900	
578 —	切	煉瓦積モルタル 調合 [redacted] セメント 1 石灰 1. 砂 5.	350	202 300	
8 800	〃	入口段石 硬石 2.5×1.1×.8×4本	600	5 280 15 —	7.540.
3 600	〃	〃 煙返石 〃 3.0×1.0×.6×2本	600	2 160	
12 400	〃	以上石敷キ及据付手間並ニ据付用モルタル共	1 —	12 400	
48 —	個	床束地形玉石 据付共	200	9 600	
4	本	小屋梁 松 16.2×.4×.8	~~3 600~~ 4 500	~~14 400~~ 18 —	~~3.600~~
6	〃	小屋束 杉 2間×.35×.35	1 200. 750	7 200 4 500	2.700
35	〃	小屋貫 中貫 〃 2寸.	180 120	630 420	210.
175	〃	母屋及棟木 〃 2"×.4×.4	1 500 1 —	26 250 17 500	8.750.
165	張坪	屋根裏板 板割 〃 2" マル割キ	2 250 2 250	37 125 37 125	0
2	本	入口枠敷居 桧又ハ欅 7.2×.35×.4 [illegible]	1 350 1 200	2 700 2 400	300
4	〃	〃 方立柱 杉 7.×.35×.4	600 450	2 400 1 800	600
2	〃	〃 鴨居 〃 7.2×.3×.4	~~600~~ 700	~~1 200~~ 1 400	~~200~~
16	〃	窓枠 〃 2.5×.2×.35	150 150	2 400 2 400	0
11 14	〃	床大引 〃 2寸 押四寸五分角	~~920~~ 2 000 1 —	~~12 880~~ 22 000 14 —	8.000 ~~7.120.~~
4	〃	〃 束 〃 2" 押.35×.35	570. 600	2 280 2 400	120.
28	〃	床根太 松 2" .25×.25	450 ~~440~~ 250	12 600 7 —	5.600 ~~5.320~~
125	張坪	床板 杉板割 2" 耳ズリ	2 800 2 500	35 — 31 250	3.750 1.250.
125	坪	大工及手傳人夫工手間	6 200	77 500	
17	〃	屋根土居葺 （足代等十円）	1 500 1 200	20 400	
17	〃	〃 土居塗 厚二寸	1 000 1 500	25 500	~~3~~1.025.
195	〃	屋根瓦葺	575 3 300 5 500	107 250	
11	間	軒樋亜鉛鍍鉄板 釣鉄物共	700	7 700	
2	本	竪樋 〃 〃	1 500	3 —	
× 10 400	貫	入口庇持送  8個及取付ボールト 16本 径5/8" 長[illegible]	700	7 280	
× 3 900	〃	〃 母屋 L"×1" 1尺ニ付[illegible]	500	1 950	

數量	單位	名稱	單價	小計	摘要
10	枚	入口庇屋根亜鉛鍍波形鉄板葺 長七尺 厚並	1—	10—	
33	間	〃屋根雨押亜鉛鍍鉄板	600	1980	
25.2	尺	入口レール Ω 鉄製 6.3尺×4本	040	1008	
4	個	〃 滑車 鋳鉄製	250	1—	
2	〃	〃 錠付引手 鉄製	300	600	
8	枚	窓障子用蝶番 〃	300	2400	
4	個	〃 締戸栓 真鍮	700	2800	
4	ケ所	窓ボールト径 1/2" 及銅網張共	1700	6800	
2	枚	入口網戸檜製ボールト及銅網共 6.1×3.2 引手	18— ~~15—~~	36— ~~30—~~	6.—
4	〃	窓硝子障子杉製 硝子共 2×2.尺間	1500	6—	
2	〃	入口鉄扉 附及締金物ペンキ塗共 6.5×3.3 〃 目方約30.貫	35—	70—	
4	〃	窓鉄扉 〃 〃 2.2×2.3 〃 7貫	10—	40—	
6	個	腰及切妻通風鉄物 ▦ 4寸方 銅網共	1—	6—	
1	式	切妻煉瓦壁留及繋金物及釘鎹		6—	
		合計		1.425 403	
325		外ニ[illegible]地盤漆喰塗	1—	32500	325—
8	個	梁下枕石 .4×.4×.8	250	2—	2—
		[illegible]		80—	50—
				150210.	

西部支部金庫新築費概算

平家建ノ分（[illegible]）

數量	單位	名稱	文書局見積額 單價	文書局見積額 小計	當地實際調査額 單價	當地實際調査額 小計	摘要
1	式	遣形及足代		21 —		~~23 —~~	（當地ノ希望）
6 —	立坪	根切 跡埋地均共 捨土トモ	~~2 —~~ 3000	~~12 —~~ 18000			約拾間ヲ隔ツル住友銀行倉庫基礎工事ニハ栗石約三尺コンクリート約四尺打チタリ本行ノ分モ今少シ丈夫ニセザレバ後日沈下スル等ノ憂ナキヤ否ヤ可成ハ今少シ地形ヲ丈夫ニシタシ 根切不用ニ属セシ土取捨ノ為メ相当費用ヲ要スルニ付一坪ノ單價ヲ三円ト改メラレタシ コンクリー單價ハ約五十円[illegible]ノ見込又割栗ハ坪十三円ニ改メラレタシ ~~コンクリー十円~~ 不用
8	〃	割栗地形	~~12 —~~ 13000	~~9600~~ 10400			
1100	〃	コンクリート 調合 セメント1 石灰1 砂6 砂利12	~~42 —~~ 50000	~~46200~~ 55000			
~~27400~~ 27200	千本	煉瓦	14 —	~~383600~~ 380800			
2 —	〃	腰鼻黒焼煉瓦	22 —	44 —			
~~27400~~ 29200	〃	煉瓦積手間 表積化粧目地共	3500	~~102900~~ 102200			
~~578~~ 574	切	煉瓦積モルタル 調合 セメント1 石灰1 砂3	350	~~202300~~ 200900			
~~8800~~ 968	〃	入口段石 硬石 ~~2.5~~ 2.75 × 1.1 × .8 × 4本	600	~~6280~~ 5808			
~~3600~~ 39	〃	〃 煙返石 〃 ~~3.~~ 3.25 × 1. × .6 × 2	600	~~2160~~ 2340			
~~12400~~ 13580	〃	以上石敲キ及据付手間並・据付用モルタル共	1 —	~~12400~~ 13580			
48 —	個	床束地形玉石 据付共	200	9600			
4	本	小屋梁 松 16.2 × .4 × .8	4500	18 —			
6	〃	小屋束 杉 2間 × .35 × .35	~~750~~ 1200	~~4500~~ 7200	1200	7200	
3.5	〃	小屋貫 中貫 〃 2'	~~120~~ 180	~~420~~ 630	180	630	
17.5	〃	母屋及棟木 〃 2' × .4 × .4	~~1 —~~ 1500	~~17500~~ 26250	1500	26250	
16.5	張坪	屋根裏板 挽割 〃 2'	~~2250~~ 2700	37125 44550			
2	本	入口枠敷居 桧又ハ欅 ~~7.2~~ 8.2 × .35 × .4	~~1200~~ 1700	~~2400~~ 3400	1500	3 —	
4	〃	〃 方立柱 杉 ~~7.~~ 7.5 × ~~.35 × .4~~ .25 × .3	~~450~~ 600	~~1800~~ 2400	600	2400	
2	〃	〃 鴨居 〃 ~~7.2~~ 8.2 × .3 × .4 ✓	~~700~~ 1000	~~1400~~ 2000			
~~16~~ 8	〃	窓枠 竪 〃 ~~2.5 × .2 × .35~~ 3.5 × .2 × .25	~~150~~ 200	~~2400~~ 1600			
8	〃	〃 敷居 鴨居 5. × .2 × .32	320	2560			
14	〃	床大引 〃 2間 押四寸五分角	~~1 —~~ 1500	~~14 —~~ 21000	2 —	22 —	床大引ハ二間半ノモノ十一本使用ニ改メラレタシ
4	〃	〃 束 〃 2' 押 .35 × .35	~~600~~ 900	~~2400~~ 3600			
28	〃	〃 根太 松 2' .25 × .25	~~250~~ 450	~~7 —~~ 12600	450	12600	
12.5	張坪	〃 板 杉挽割 2'	~~2500~~ 3000	~~31250~~ 37500	3 —	37500	
12.5	坪	大工及手傳人夫工手間	6200	77500			
17	〃	屋根土居葺	1200	20400			
17	〃	〃 土居塗 厚二寸	1500	25500			
19.5	〃	屋根瓦葺	5500	107250			
11	間	軒樋亜鉛鍍鉄板 釣鉄物共	700	7700			
2	本	竪樋 〃 〃	1500	3 —			
~~10400~~ 12000	貫	入口庇持送 ◺ 8個及取付ボールト 16ヶ 径 3/8" 長1尺	~~700~~ 900	~~7280~~ 10800			持送ハ止メトシ生子板ハ五本トスルノ 三尺四寸ノ庇ニテハ平時雨天ノ際ト雖モ出入不便ニ付約五尺ニ改メラレタシ従ッテ持送リモ自然改メラルルコトナルベキヤニ相考ヘ如何ニヤ
~~3900~~ 4200	〃	〃 母屋 ∟1"×1" 1尺ニ付 听.8	~~500~~ 700	~~1950~~ 2940			

8496

04-004

数量	單位	名稱	文書局見積額		當地實際調査額		
			單價	小計	單價	小計	
~~10~~ 12	枚	入口庇屋根亜鉛鍍波形鉄板葺 長~~七~~六尺厚亜	~~1—~~ 900	~~10—~~ 10800			
~~33~~ 37	間	〃屋根雨押亜鉛鍍鉄板	600	~~1980~~ 2220			
~~252~~ 292	尺	〃レール Ω 鉄製 ~~6.3~~ 7.3 × 4分	040	~~1008~~ 1168			
4	個	〃滑車　鋳鉄製	250	1—			
2	〃	〃錠付引手　鉄製	300	600			
~~8~~	~~枚~~	~~窓障子用蝶番　〃~~	~~300~~	~~2400~~			
~~4~~	~~個~~	~~〃締片捻　真鍮~~	~~700~~	~~2800~~			
4	ケ所	〃ボールト 径 ½ 及銅網張共	1700	6800			
2	枚	入口網戸檜製ボールト及銅網共 ~~6.1 × 3.2~~ 6.6 × 3.7 引手	~~15—~~ 18—	~~30—~~ 36—			入口ハ此法ニテ六尺五寸×三尺五寸ニシタシ 桐ヲカツギテ出入スル牛 六尺ニテハ常ニ中腰ニナル不便アリ
4	〃	窓硝子障子杉製　硝子共 ~~2. × 2. 片開~~ 2.2 × 2.7 引戸	~~1500~~ 2200	~~6—~~ 8800			窓硝子2.×2.ハ少シ小ナル故ニシ 2.2×2.5位ノ意味アリタシ 且為シ得ベクバ内部ニ取付ケ引戸ニシタシ
2	〃	入口鉄扉 肘及締金物ペンキ塗共 ~~6.5 × 3.0~~ 7. × 3.8 片開　目方約 ~~3.0~~ 3.5 貫	~~35—~~ 45000	~~70—~~ 90000			入口ヲ拡張スレバ本改モ自然改造ヲ要スベキカ 重量増大シテモ片開ニテヨロシキヤ 肘ツボニ力ガかかリ過ギ据ノ心配無之モノニヤ
4	〃	窓　〃　〃　〃　2.2 × ~~2.0~~ 2.8　〃　〃 ~~7~~ 8	~~10—~~ 12000	~~40—~~ 48000			窓モ前々改設ノ結果大キクナルベシ 且ツ内開キナレバ倉庫内ノ場所為之使用出来ザル所生ズ 外部ニ引リ板ノ方ニ致シタシ
6	個	腰及切妻通風鉄物 ▤ 五寸方銅網共	1—	6—			
1	式	切妻煉瓦壁母屋繋金物及釘．鋲　窓入口枠取付ボールト共		~~5—~~ 6			
		合計		~~1.425 403~~ 1.426 405			
325	平坪	倉庫内部白漆喰塗	1300	42250	1300	42250	内部ハ汚レヨゴルル故白漆喰ヲナシタシ
~~2~~	~~個~~	~~梁下枕石 .4×.4×.8~~			250	2—	梁木ニ為金枕石ノ要アルヤ否ヤ 可成ハ入レテ置キタシ　不用
~~2~~	~~式"~~	~~框石 入口二ケ所~~			2250	4500	大きな見込（石ナラバ吉例トナリ）
1	〃	コンクリート用堰板損料				5—	コンクリート用堰板　コンクリートおヽ
1	〃	現在使用水道移轉費		3000		3—	
1	〃	倉庫排水土管伏設		5000		10—	・喰込マセテ可ナリ
				~~1.425 403~~ 1,546021		1.524 863	

別紙し

参

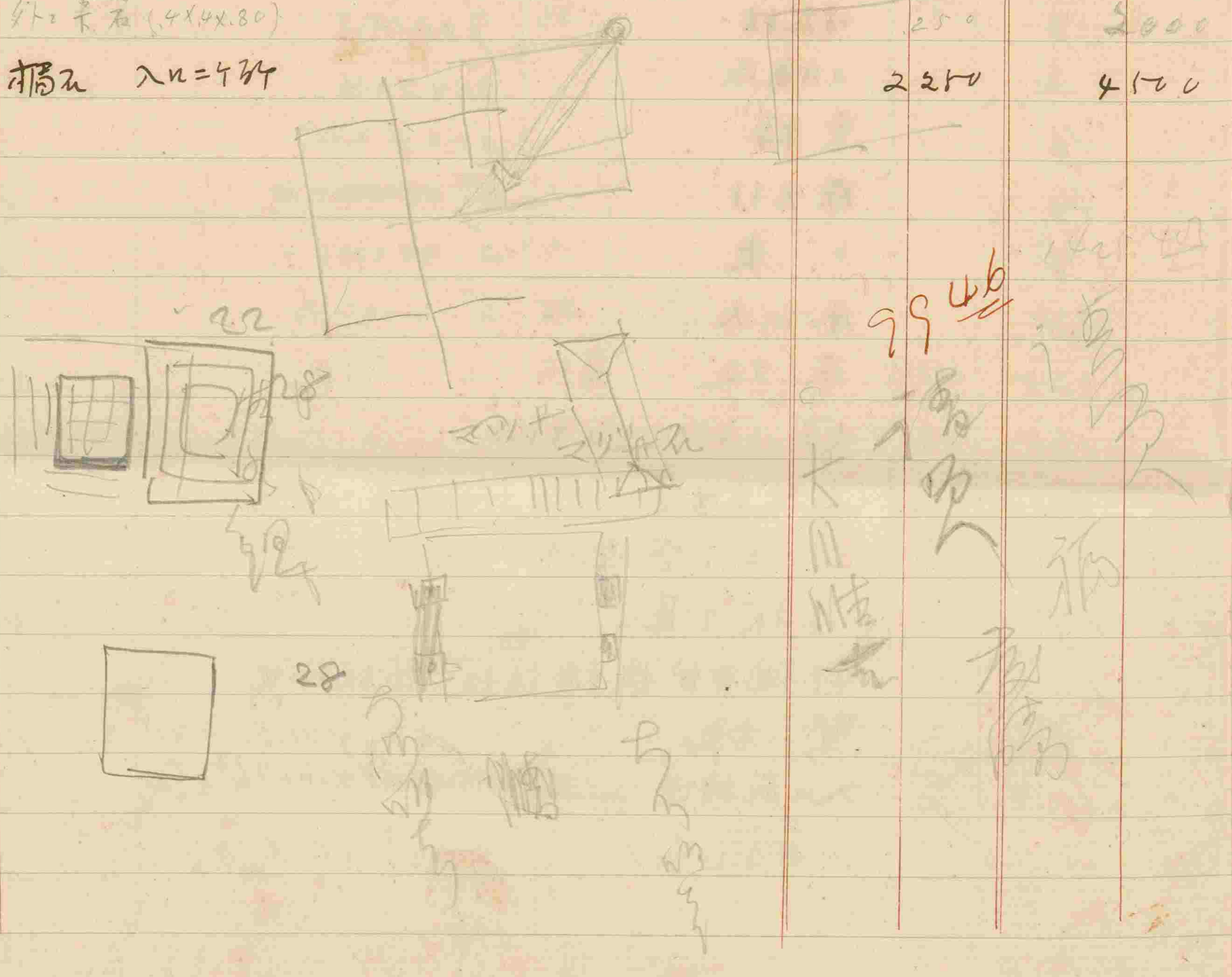
（備考）當地調査額中記入ナキ分ハ文書局見積ト大差ナキモノナリ 多少ノ過不足アレ共價格又ハ減額ノ要ナシト存ス

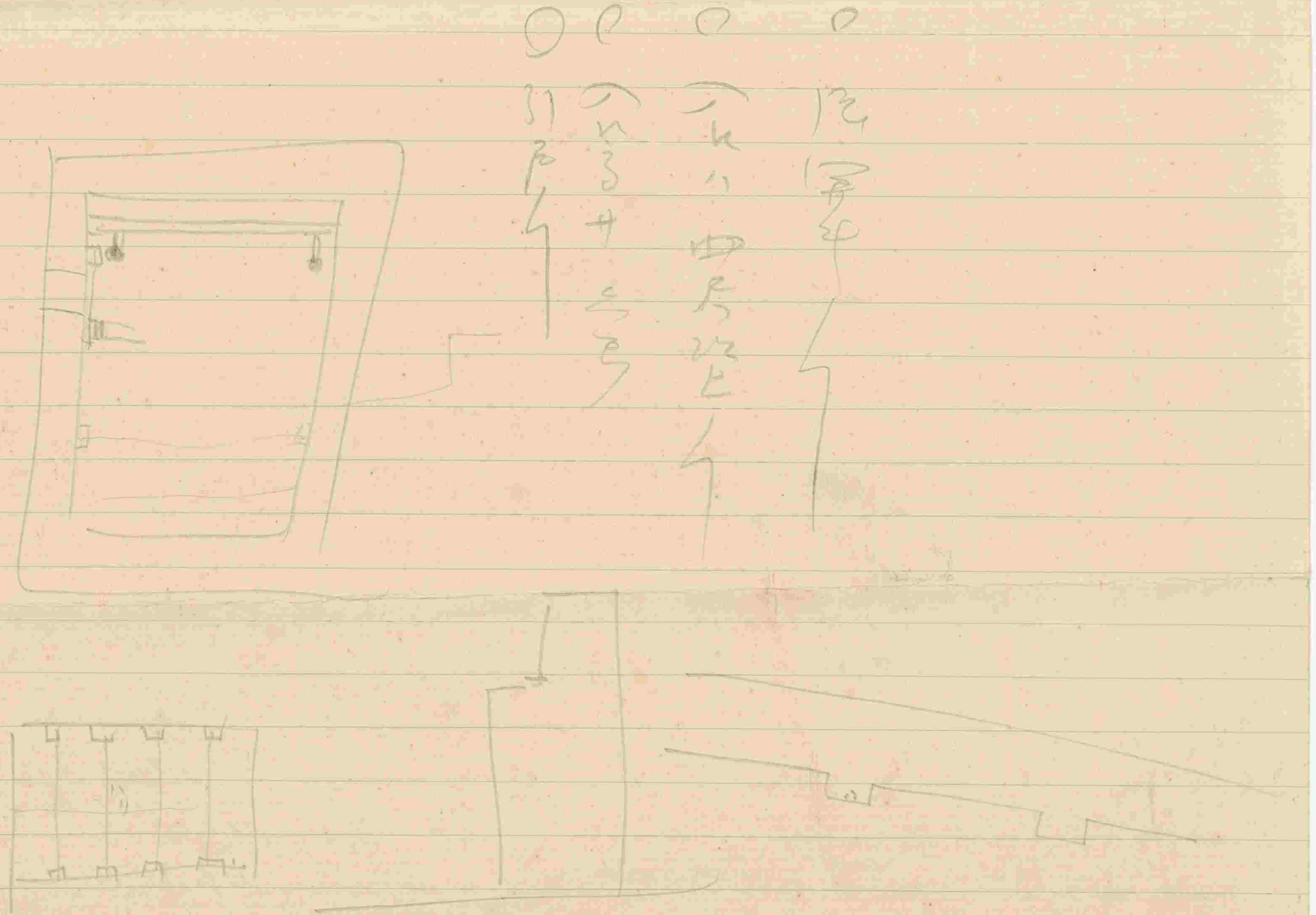
日本[illegible]会館　　建物内法坪 12.5坪　壁建外坪 15.49坪

數量	單位	名稱			單價	小計
1	式	遣形及定杭（壇板共）				~~25—~~ 21—
6 000	立坪	根切　跡埋地均共			2—	12—
800	〃	割栗地形			12—	9 600
1 100	〃	コンクリート		調合 セメント 1. 石灰 1. 砂 6. 砂利 12.	42—	46 200
27 400	千本	煉瓦			14—	383 600
2 000	〃	腰黒煉瓦（七ッ焼過）			22—	44—
29 400	〃	煉瓦積手間　表積化粧目地共			3 500	102 900
578—	切	煉瓦積モルタル		調合 セメント 1. 石灰 1. 砂 5.	350	202 300
8 800	〃	入口股石	硬石	2.2尺×1.1×.8×4本	600	5 280
3 600	〃	〃 大理石	〃	3.0×1.0×.6×2本	600	2 160
12 400	〃	以上石加工及据付手間並ニ据付用モルタル共			1 000	12 400
48	個	床束地形石　据付共			200	9 600
4	本	小屋梁	松	16.2尺×.4×.8	4 500	18—
6	〃	小屋束	杉	2.5寸×.35×.35	750	4 500
35	〃	小屋貫	中貫杉	2寸	120	420
17 5	〃	母屋及棟木	〃	2寸×.4×.4	1 000	17 500
16 5	延坪	屋根裏板	板割 〃	2寸	2 250	37 150
2	本	入口枠敷居	檜又ハ欅	7.2尺×.35×.4	1 500 ~~1 200~~	3 000 2 400
4	〃	窓立柱	杉	7尺×.25×.3	450	1 800
2	〃	〃 鴨居	〃	7.2尺×.3×.4	700	1 400
16	〃	窓枠	〃	2.5尺×.2×.35	150	2 400
14	〃	床大引	〃	2.5寸 押四ツ割角	1 000	14—
4	〃	〃 束	〃	2寸 押三ツ割〃	600	2 400
28	〃	床根太	松	2寸 二ツ割角	250	7—
12 5	延坪	床板	板割 杉	2寸	2 500	31 250
12 5	坪	大工及手傳人夫工手間			6 200	77 500
17	〃	屋根土居葺			1 200	20 400
17	〃	〃 土居塗 厚二寸土			1 500	25 500
19 5	〃	屋根瓦葺（鬼板及棟瓦）			5 500	107 250
11	間	軒樋 亜鉛鍍鉄板 釣鉄物共			700	7 700
2	本	竪樋 〃 〃（同鉄物共）			1 500	3—
10 400	貫	入口庇持送 8個及取付ボールト16本 径3/8寸長1尺			700	7 280?
3 900	〃	〃 母屋 L 1″×1″ 1尺ニ付 .8斤			500	1 950

04-006

10	枚	入口庇屋根亜鉛鍍波形鉄板葺 長七尺 厚並 （ゴム座付釘検共）	1—	10—
33	間	〃屋根雨押亜鉛鍍鉄板	600	1980
25.2	尺	入口レール ⊓ 鉄製 6分×4本	040	1008
4	個	〃滑車 鋳鉄製	250	1—
2	〃	〃錠付引手 鉄製	300	600
8	枚	窓障子用蝶番 〃 開戸二重入	300	2400
4	個	〃締尾栓 真鍮	700	2800
4	箇所	窓ボールト至台及銅網張共	1700	6800
2	枚	入口網戸杉製 ボールト及金網張共 6.1×3.2 引手	18 15—	30—
4	〃	窓格子障子杉製 格子共 2×2 尺間	1500	6—
2	〃	入口鉄扉 附及帯金物 ペンキ塗共 6.5×3.3 〃目方約30貫	35—	70— ?
4	〃	窓鉄扉 〃 〃 2.2×2.3 〃7貫	10—	40— ?
6	個	腰及切妻通風鉄物 ▦ 五寸方 金網張共	1—	6—
1	式	切妻煉瓦壁四ヶ所 繋金物及釘等		5—
		合計		1,2425403
				1,463,453
32.5	坪	外内部白漆喰塗	1000	32500
1	式	外屋根漆喰 ?		12500
800	個	外ヶ栗石 (.4×4×.80)	250	2000
2	個	樋孔 入口二ヶ所	2250	4500





數量	單位	名稱	文書局見積額		當地實際調査額		
			單價	小計	單價	小計	
1 式		遣形及足代		21 —		~~20 —~~ ~~26 —~~	
6 —	立坪	根切 跡埋地均共	2	12 —	3 — 七坪六合	22 800	今少シ ~~施~~ 基礎工事ハ ~~基礎工事~~ 陸奥宮住友社行ノ例ニ徴スレバ（~~[illegible] コンクリート上四~~ ~~尺打~~ 栗石ハ三尺 ~~[illegible]~~ 場 ~~[illegible]~~ コンクリートハ四尺打テタルモ此ノ事行ハレモ ユ付今少シ丈夫ニ ~~[illegible]~~ トニシタシ 役ニ厚東直リトスルモ（割栗地形ハ ~~[illegible]~~ 根切）ハ ~~[illegible]~~ 及 コンクリート ~~[illegible]~~ ハ本表ノ通リ [illegible]ニツクリタシ
8	〃	割栗地形	12 —	9 600	13.50 五坪三合 一坪	17 550	
1 100	〃	コンクリート 調合 セメント 1. 石灰 1. スナ 6. スナ利 12.	42	46 200	50 — 一坪三合	60 —	
27 400	千本	煉瓦	14 —	383 600			
2 —	〃	腰巣黒煉瓦	22 —	44 —			
29 400	〃	煉瓦積手間 表積化粧目地共	3 500	102 900			
578 —	坪	煉瓦積モルタル 調合 セメント 1. 石灰 1. スナ 5.	350	202 200			
8 800	〃	入口段石.硬石. 2.5×1.1×.8×4本	600	5 280		~~10 —~~	
3 600	〃	〃 煙道石 〃 3.×1.×.6×2本	600	2 160			
12 400	〃	以上不敷キ及据付手間并ニ据付用モルタル共	1 —	12 400			
48 —	個	床束地形玉石 据付共	200	9 600			
4	本	小屋梁 松 16.2×.4×.8	4 500	18 —			
6	〃	小屋束 杉 間 2×.35×.35	750	4 500	1 200	7 200	本行ノ見積價數ハ當地調査額ニテ訂正セラレタシ
3 5	〃	小屋貫 中貫 〃 2.5	120	420	180	630	〃
17 5	〃	母屋及棟木 〃 2″×.4×.4	7 —	17 500	1 500	26 250	〃
16 5	張坪	屋根裏板 杉割 〃 2″	2 250	37 125			
2	本	入口枠敷居 檜又欅 7.2×.35×.4	1 200	2 400	1 800 ~~1 350~~	3 000 ~~2 700~~	〃
4	〃	〃方立柱 杉 7.×.35×.4	450	1 800	600	2 400	〃
2	〃	〃鴨居 〃 7.2×.3×.4	700	1 400			
16	〃	窓枠 〃 3.5×.2×.35	150	2 400			
14	〃	床大引 〃 2.5″ 押四寸孔角	1 —	14 —	2 —	22 —	〃床大引ハ二間物使用トナリ居レルモ二間半ノモノ ~~十本~~ 十一本ヲ使用スルコトニ改メタシ
4	〃	〃束 〃 2″ 杉 .35×.35	600	2 400			
28	〃	床根太 松 2″ .25×.25	250	7 —	450	12 600	〃
12 5	張坪	床板 杉板割 2″	2 500	31 250	3 — ~~2 800~~	37 500 ~~35 —~~	〃
12 5	坪	大工及手傳人夫工手間	6 200	77 500			
17	〃	屋根土居葺	1 200	20 400			
17	〃	〃 土居塗 厚二寸	1 500	25 500			
19 5	〃	屋根瓦葺	5 500	107 250			
11	間	軒樋亜鉛鍍鉄板 釣鉄物共	700	7 700			
2	本	竪樋 〃 〃	1 500	3 —			
10 400	貫	入口庇持送 8個及取付ボールト 16本 径3/8″長1尺	700	7 280			入口庇三尺五寸ニテハ[illegible]平時雨天ノ際ト雖モ出入ニ不便ニ付キ六尺位ニ改メタシ従テ持送リ等モ改造ノ必要之ナキヤ
3 900	〃	〃 母屋 L 1″×1″ 尺付 .8	500	1 950			〃

數量	單位	名稱	文部省見積額		當地實際調査額		
			單價	小計	單價	小計	
10	枚	入口庇及根亜鉛鍍波形鉄板葺 長七尺竪並	1 —	10 —			
33	間	〃屋根雨押亜鉛鍍鉄板	600	1980			
252	尺	入口レール 凵 鉄製 6.3×4本	040	1008			
4	個	〃 滑車 鋳鉄製	250	1 —			
2	〃	〃 錠付引手 鉄製	300	600			
8	枚	窓障子用蝶番 〃	300	2400			
4	個	〃 締尾栓 真鍮	700 ~~300~~	2800			
4	ヶ所	窓ボールト 径1/2″ 及銅網張共	1700	6800			
2	枚	入口網戸枠鉄製ボールト及釣網共 6.1×3.2 引手	15 —	30 —			入口ハ 6.5×3.5ニシテ 稍ヲ挟キテ出入ノ際不自由ナリ（6.1×3.2ニテハ）
4	〃	窓格子障子 杉製 格子共 2×2 片開	1500	6 —			窓格子ノ片開ナル時ハ倉庫内ニ於テ物ヲ積ミタル時邪魔トナルニ付引戸ニ改メタシ
2	〃	入口鉄扉 附属締金物ペンキ塗共 6.5×3.3 片開 日方 約30貫	35 —	70 —			鉄扉モ内上ノ用難アルニ付外部ニ開ク様改メタシ
4	〃	窓鉄扉 〃 〃 2.2×2.3 〃 7貫	10 —	40 —			〃
6	個	腰及切妻通風鉄物 ⊡ 3寸方 銅網共	1	6 —			
1	式	切妻換気窓田形製金物及釘、錠		5 —			
		合計		1.425 403			
325	平坪	倉庫内部白漆喰塗		—	1300 ~~[illegible]~~	42250 ~~[illegible]~~	内部ハ白漆喰塗ヲ施シタシ
8	個	梁下枕石 .4×.4×.8		—	250	2 —	梁下枕石ヲ使用シタシ
~~1~~	式	~~矢板及杭拔抽~~ ~~掘方~~ 栗石 二個入ル用			2250	4100 ~~6~~	地形ヲ原案通リトスルモ本次ノ全杭追加要アリタシ
1	〃	コンクリート用堰板拔抽				5 — 4 —	〃
1	〃	現在使用水道移轉費				3 —	〃
1	〃	倉庫排水溝伏設				10 —	

04-009

合併別館間廊下圖面

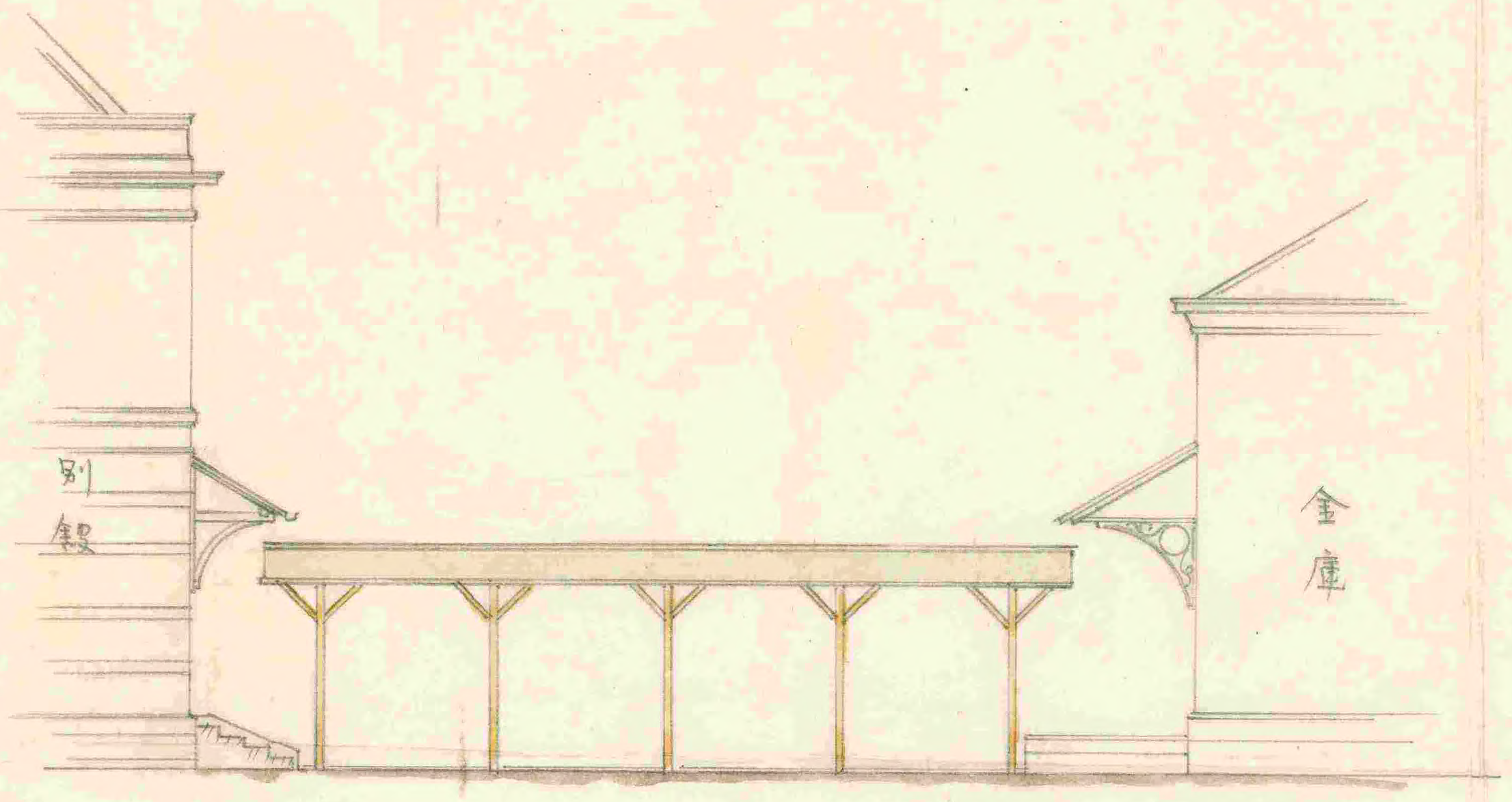
但し四十一年廢棄

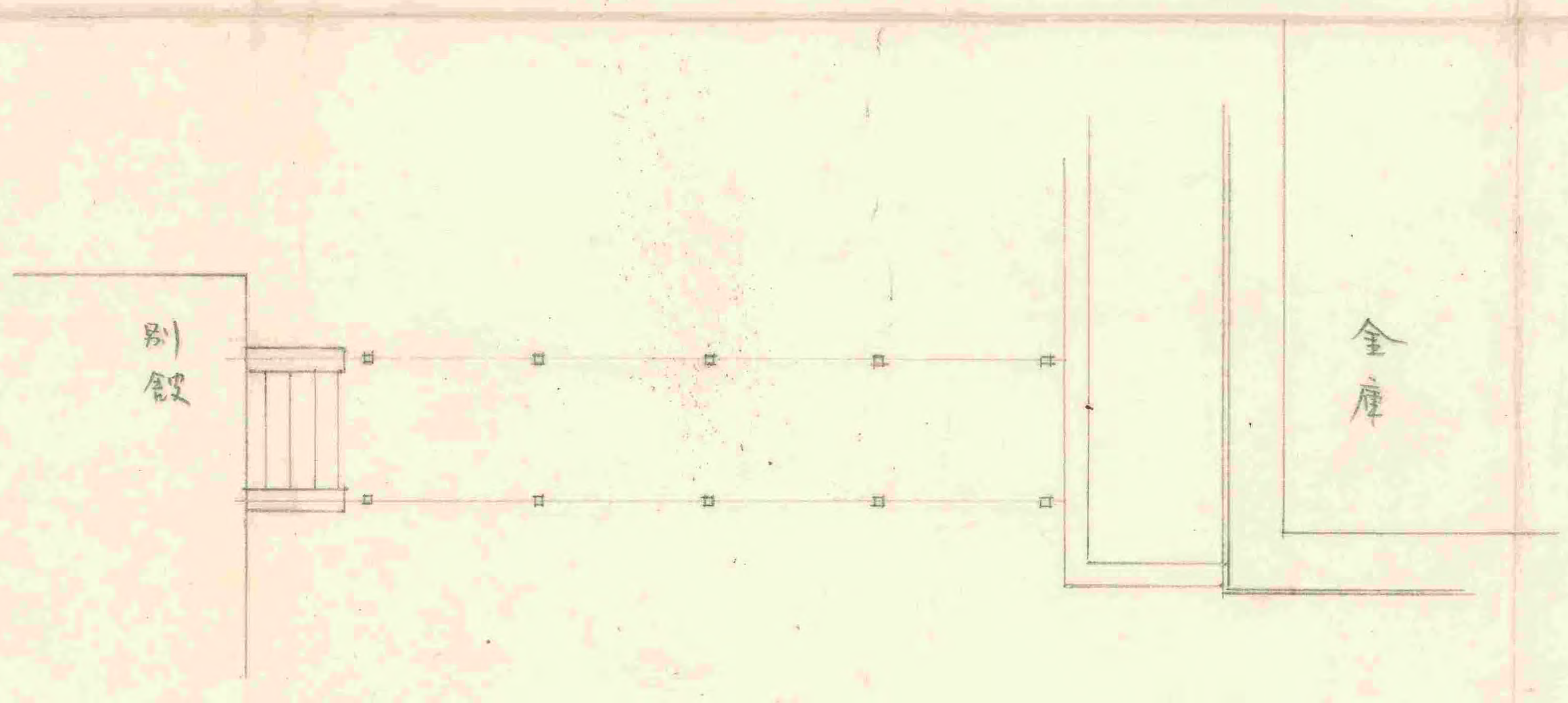
編纂番号

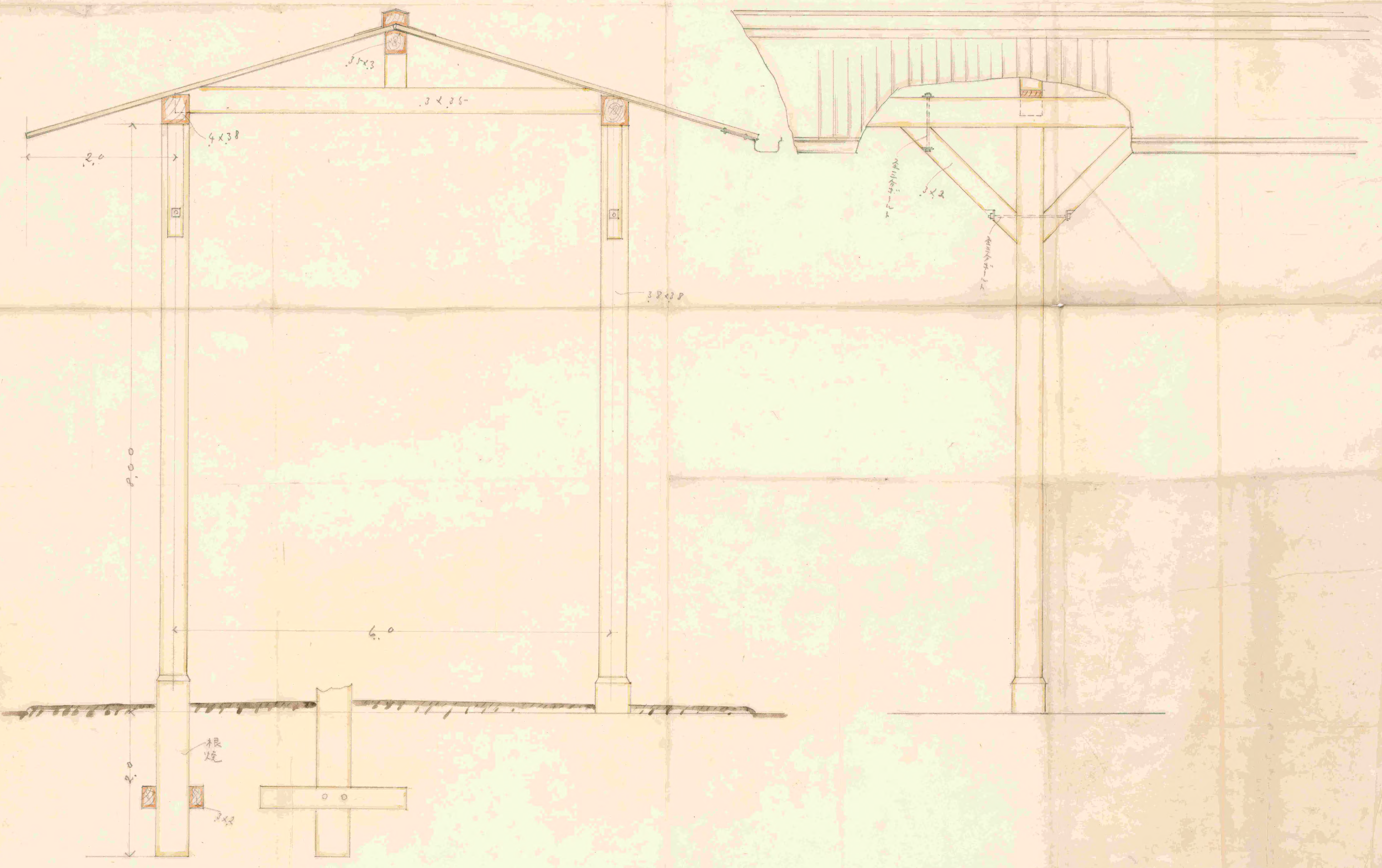
一

第拾號　西部支店増築金庫渡ノ廊下

尺度　百分ノ壱　及　拾分ノ壱






.35×3
.3×.35
4×38
2.0
38×38
8.00
6.0
根焼
2.0
3×2
全三分ボールト
3×2
全三分ボールト

05-002

金庫換気塔位置圖面

四十年改造

編纂番号
二

御答

○一通風塔ノ位置ハ甲印ノ分空気流通宜敷ニ付コレニ決定
相成候又通風塔ハ重量ハ多分ニ無之候テ支持方法ハ
充分ニ御考ヘ追テ詳細御通知可致候

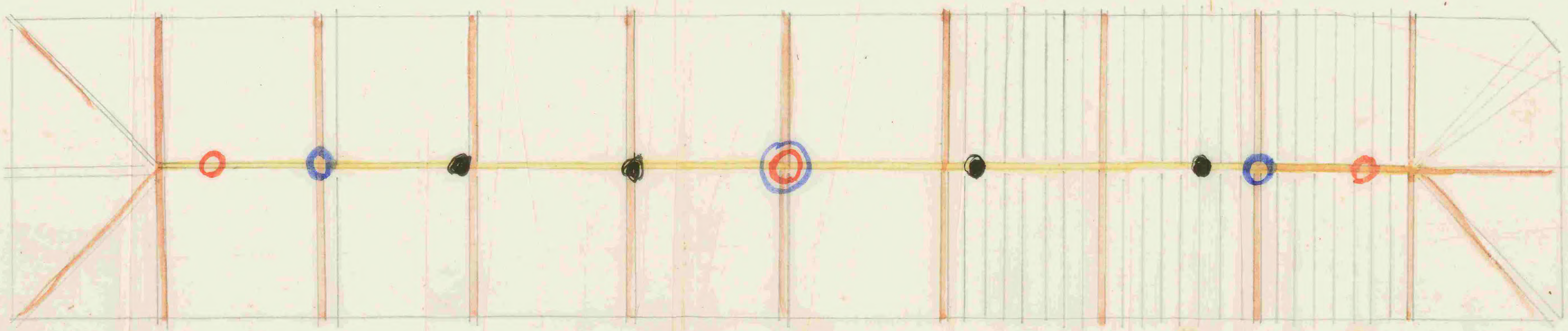
○一避雷針ハ黒点ノ位置ニ
等分ニ割リ付据付ケ候ハヾ
可然ト存申候

○一通風塔ハ只今福島山ノ分
見本ヲ製作中ニテ出来次第
御送リ致シ可申候ニテ
御請求被成度候

○一本館修繕ノ壁ハ何レモ
手ヲ要ス中ニ漏入致候

修仕様

中村



○乙

○甲　印ノ分ハ赤ニテ示シ
ケ所

本館屋根改繕圖面

四十一年中改繕

編纂番号
三

07-001

日本銀行西部支店本館スレート葺ニ屋根軒先キ銅板葺ニ模様替図面　二拾分之一

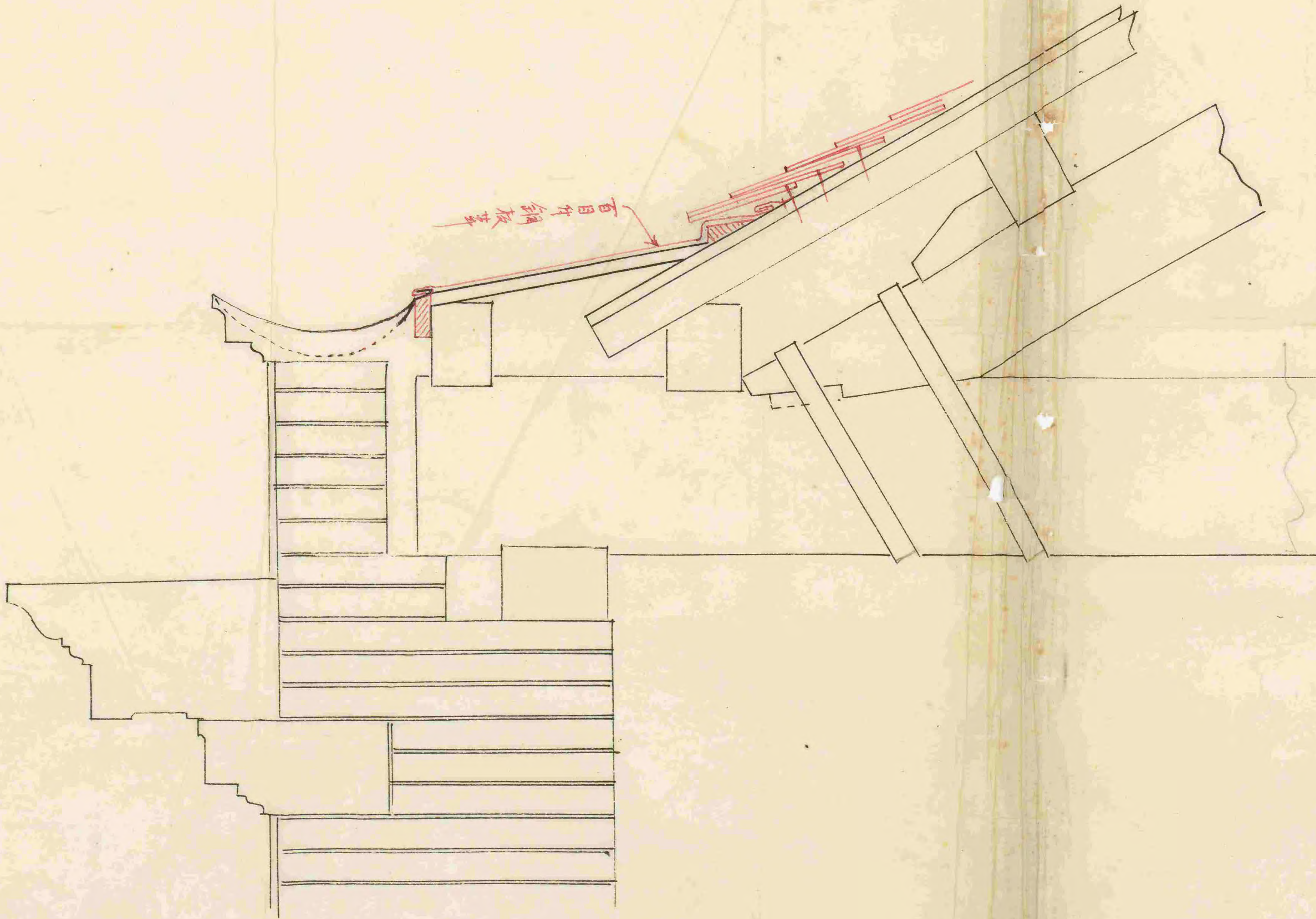
但シ黒線ハ在来ノ形ヲ示シ赤線ハ新規又ハ在来品ニテ改造スヘシ

銅板ノ接キ手ハ伸縮ヲ自由ナラシムル為メコハゼ接（重ネ五分以上）

釣子ハ壱尺間毎ニ釘ニスヘシ

銅板ト在来ノ軒樋并ニ切レ止屋根ナト実際ハ図面及掛員ノ差図ニ従フヘシ

明治四十一年六月十日



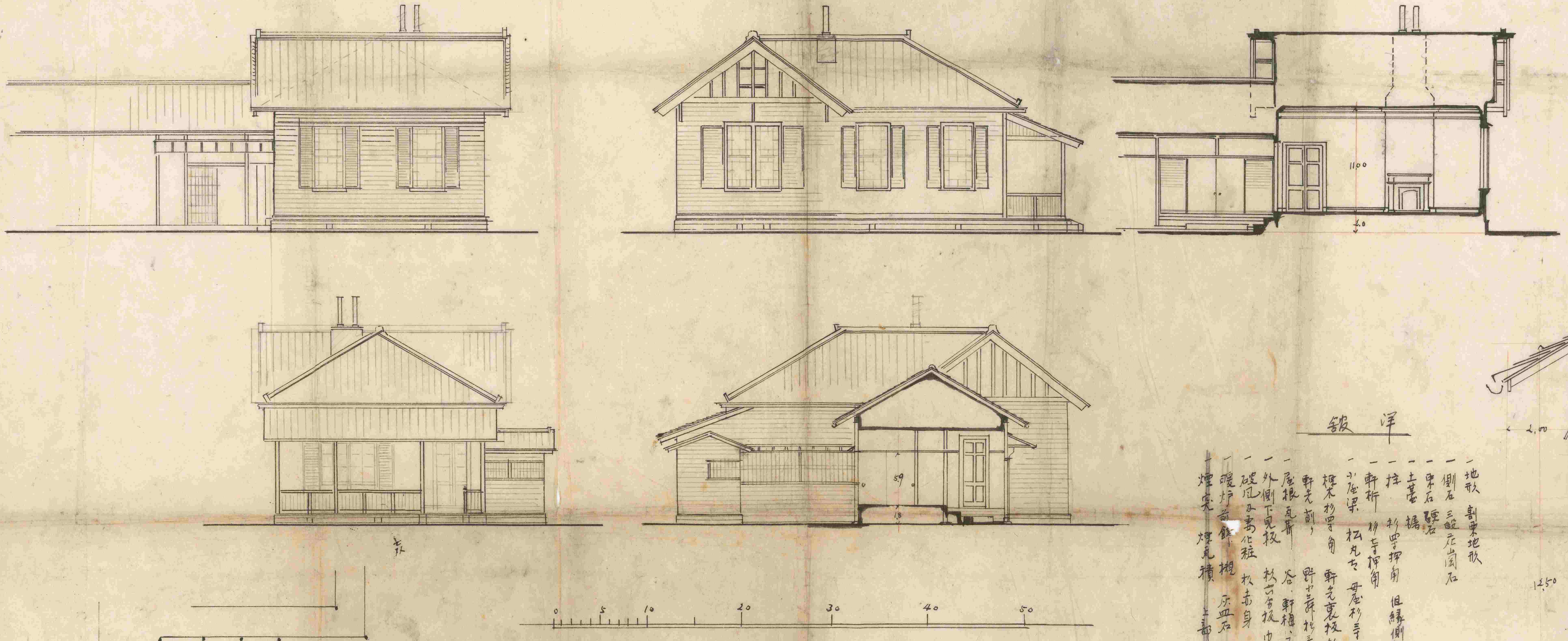
編纂番号
四

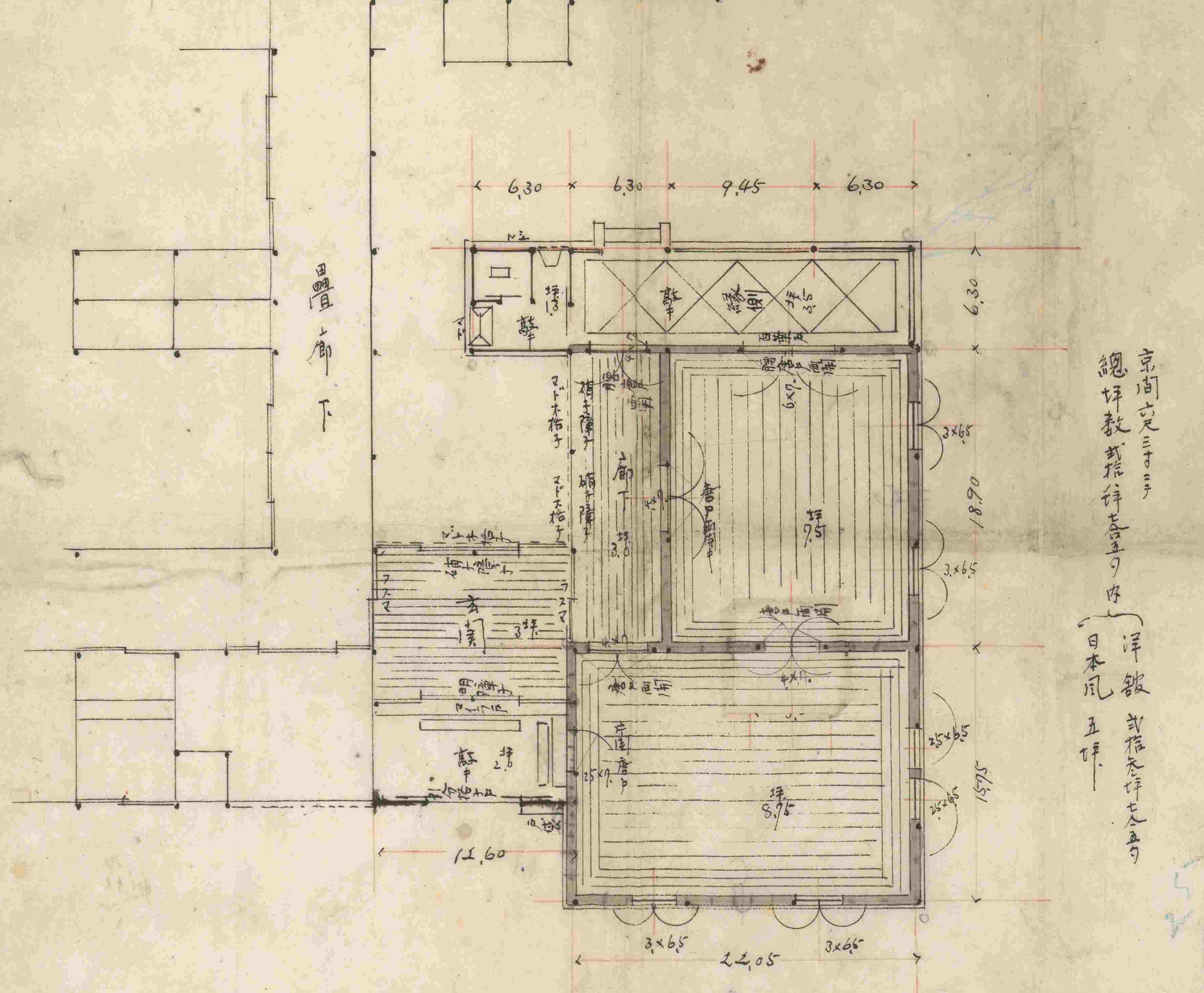
支部長役宅洋館図面

四十一年度[illegible]

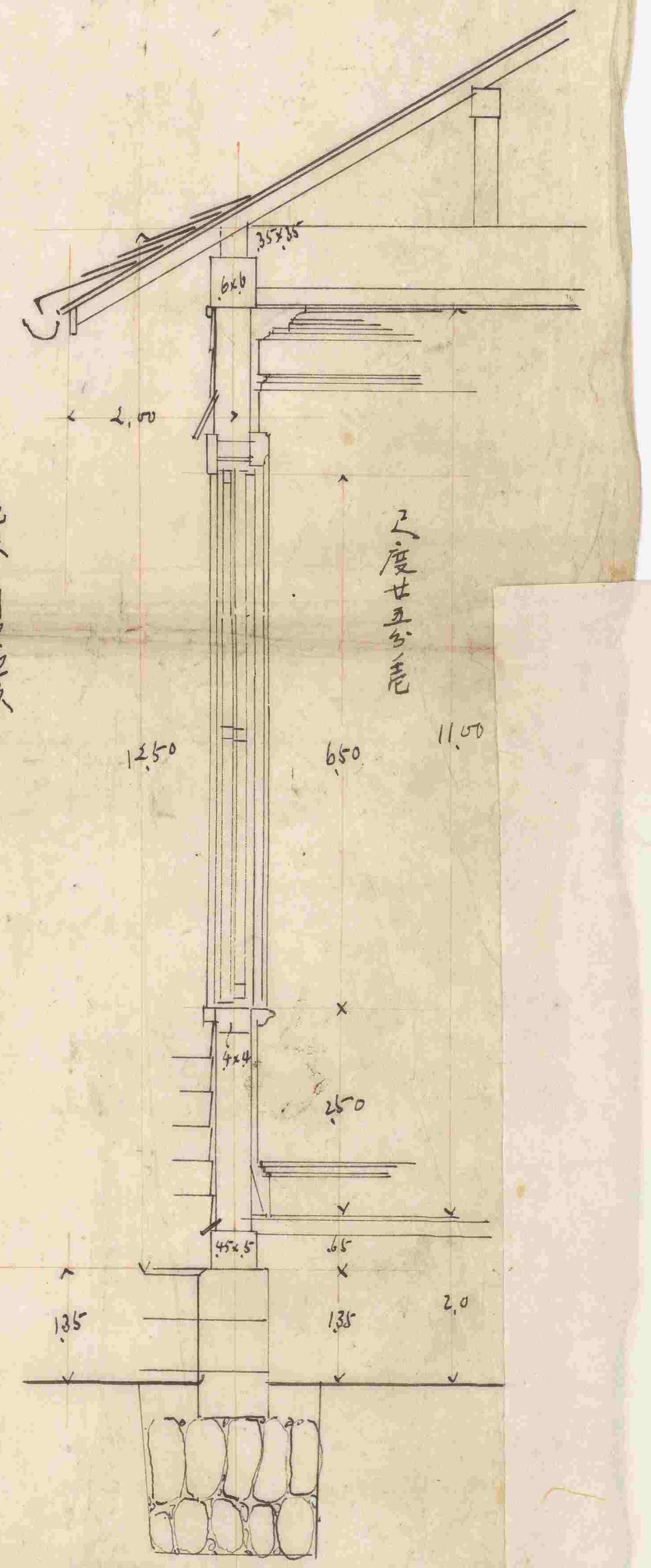
日本銀行西部支店長役宅増築図

縮尺百分之壱


1100
表
0 5 10 20 30 40 50


6,30
6,30
9,45
6,30
畳廊下
玄関
18,90
3×65
11,60
24,05
3×65

京間六尺三寸ニテ
總坪数弐拾八坪七合五勺　内
洋館　弐拾参坪七合五勺
日本風　五坪


2,00
12,50
6,50
11,00
4,50
1,35
2,0

洋館

一 地形　割栗地形
一 側石　三段花崗石
一 束石　硬石
一 土臺　檜
一 柱　杉四寸押角　但縁側柱ハ杉四寸ニ削リ仕上ケ
一 軒桁　杉七寸押角
一 小屋梁　松丸太　母屋杉三寸五分角　棰松弐寸角　小屋束杉三寸角
一 棟木杉四寸角　軒先裏板杉六分板　廣小舞鼻隠杉大貫
一 軒先削リ　野地ハ小舞杉三寸貫　土居葺杉柿板葺
一 屋根瓦葺　谷、軒樋、竪樋、雨押其他亜鉛引鐵板
一 外側下見板　杉六分板巾五寸ニ揃ヘ削打（木地ハ後ニテ塗ヲ施ス）
一 破風及妻化粧　杉赤身
一 暖炉前飾　欅　灰皿石　蝋石磨キ
一 煙突　煉瓦積　上部鐵板製
一 窓枠及上下障子　檜材外ペンキ内ワニス
一 唐戸枠及唐戸　仝上
一 縁側腰高双窓并欄間及鴨居溝付引違硝子障子共総テ檜材ペンキ塗
一 窓及出入口外　百葉戸　仝上ペンキ塗
一 床ノ板檜厚七分仕上ケ　隠釘打張立
床ノ大引松丸太　束杉押三寸五分角　根太松弐寸角壱尺五寸間
一 天井蛇腹及長押　檜材　ワニス塗
一 天井及壁　漆喰塗
一 縁側床ノ敲キ

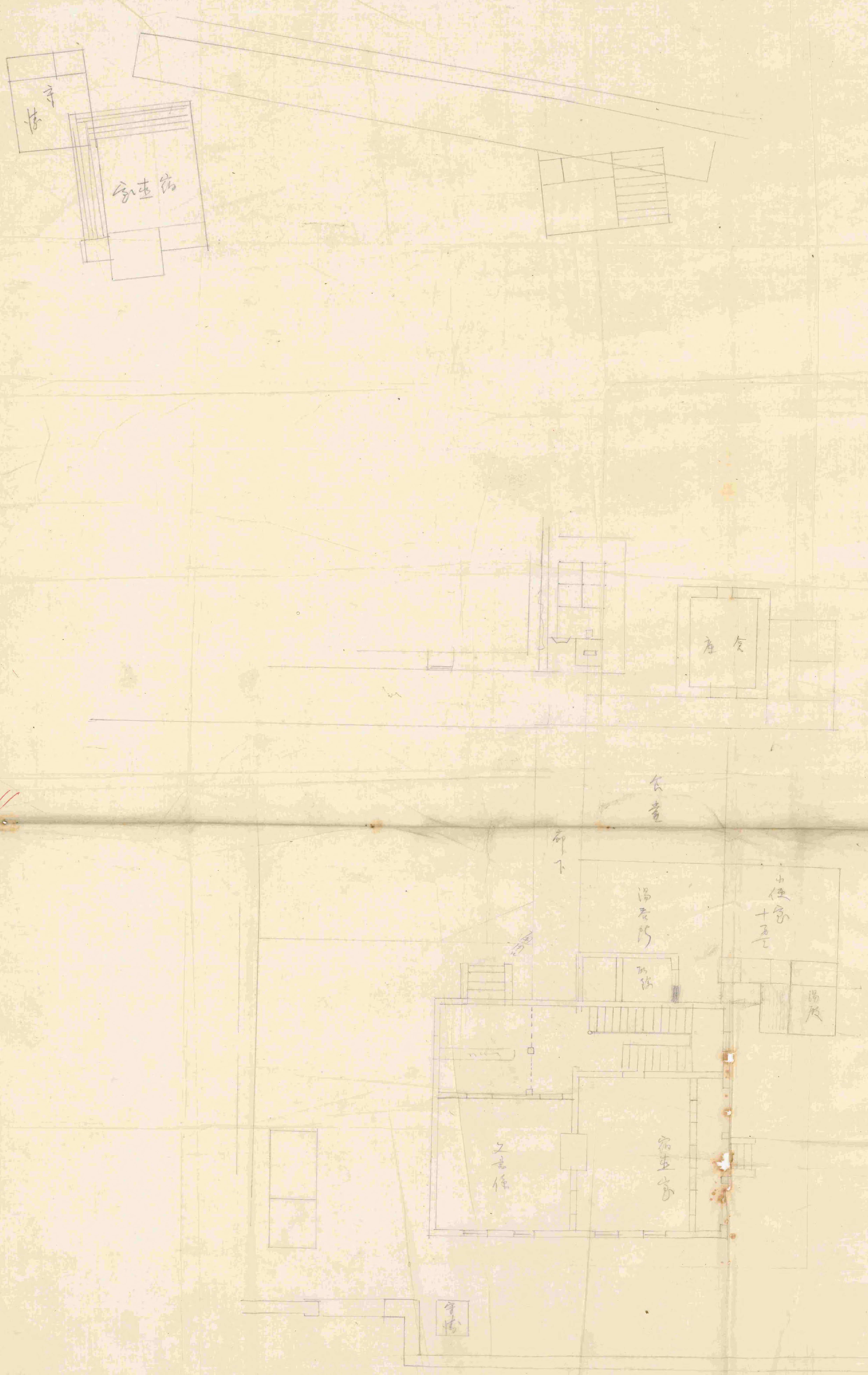
日本風

一 柱、栂無節三寸六分四方　内法廻リ仝木
一 天井廻縁棹縁仝木　天井板杉杢板
一 上リ段　栂
一 玄関格子戸　檜　舞良戸　杉　明障子　杉
一 窓硝子障子　檜
一 襖葛布張　縁杉框
其他前記洋館ニ準ズ

支店掃除模様替圖面

四十一年中改造

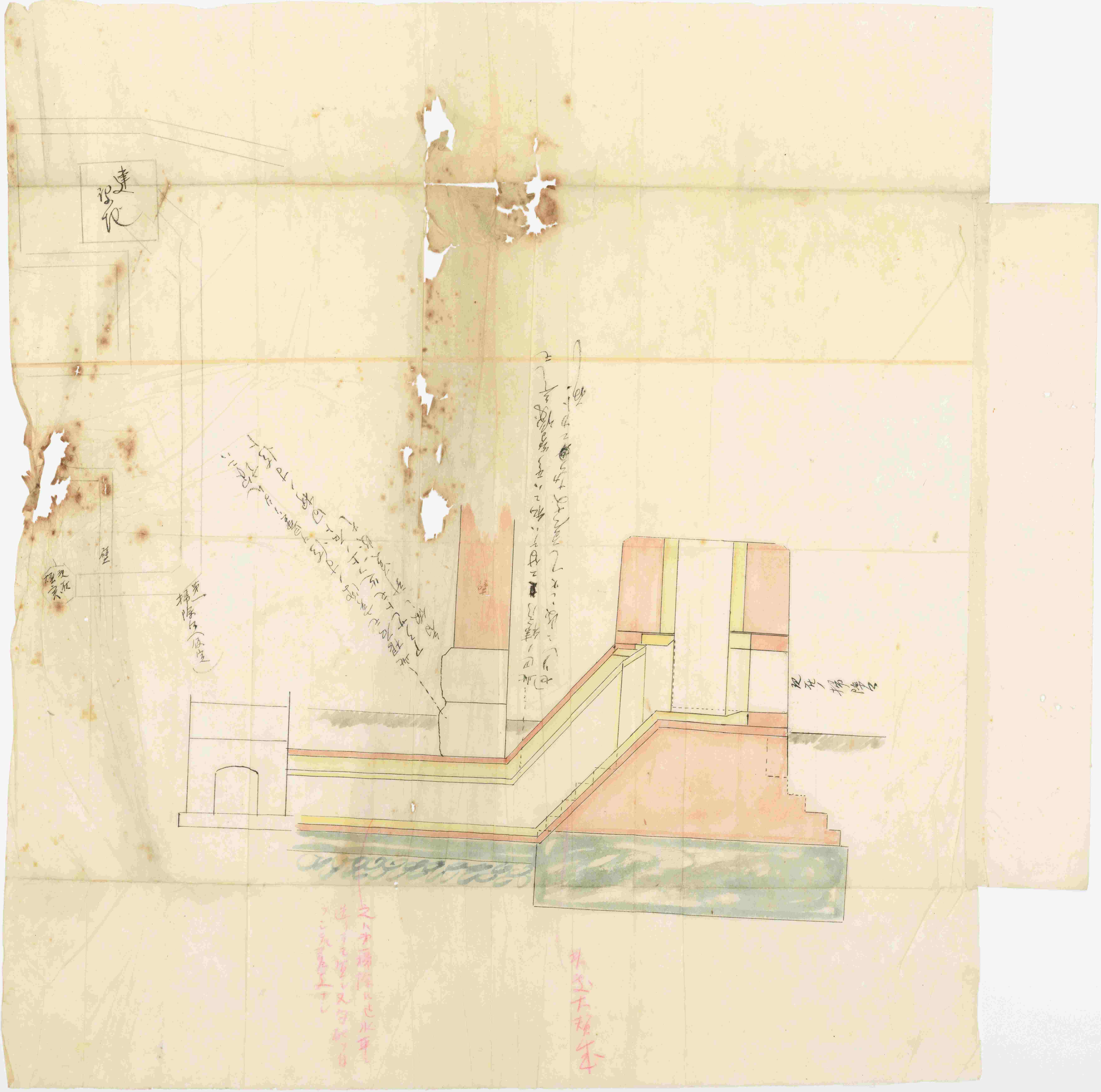
編纂番号
五


守衛
宿生舎
倉庫
食堂
廊下
湯呑所
小使室
十五畳
面所
物置
湯殿
文書係
宿生室
守衛

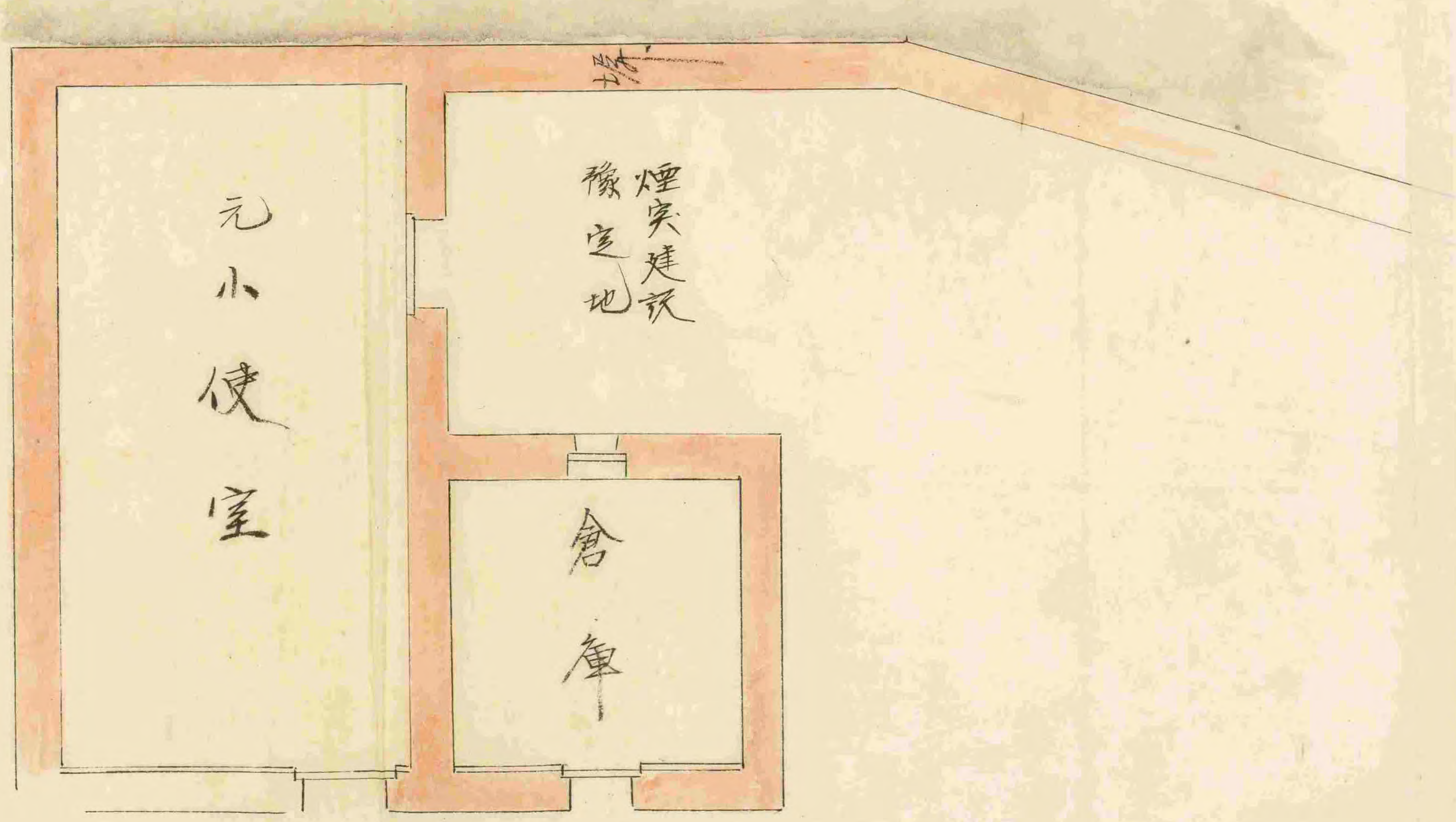
烟突改造ニ関スル図面

四十一年改造

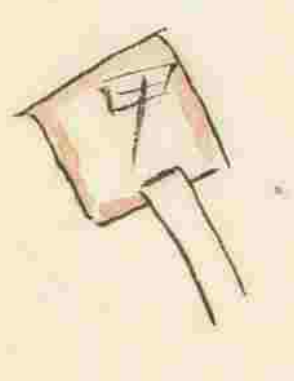
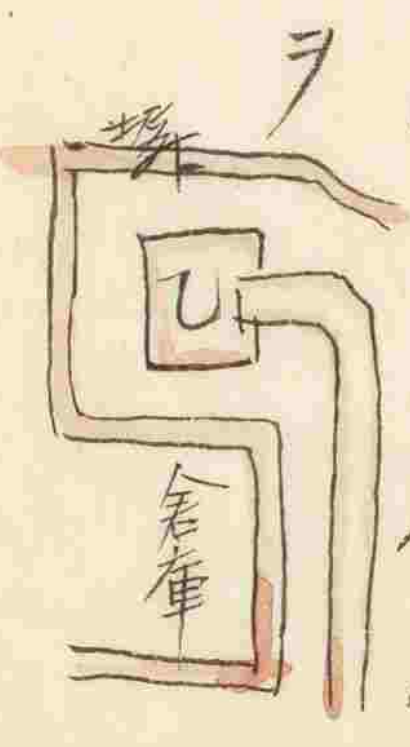
編纂番号
六

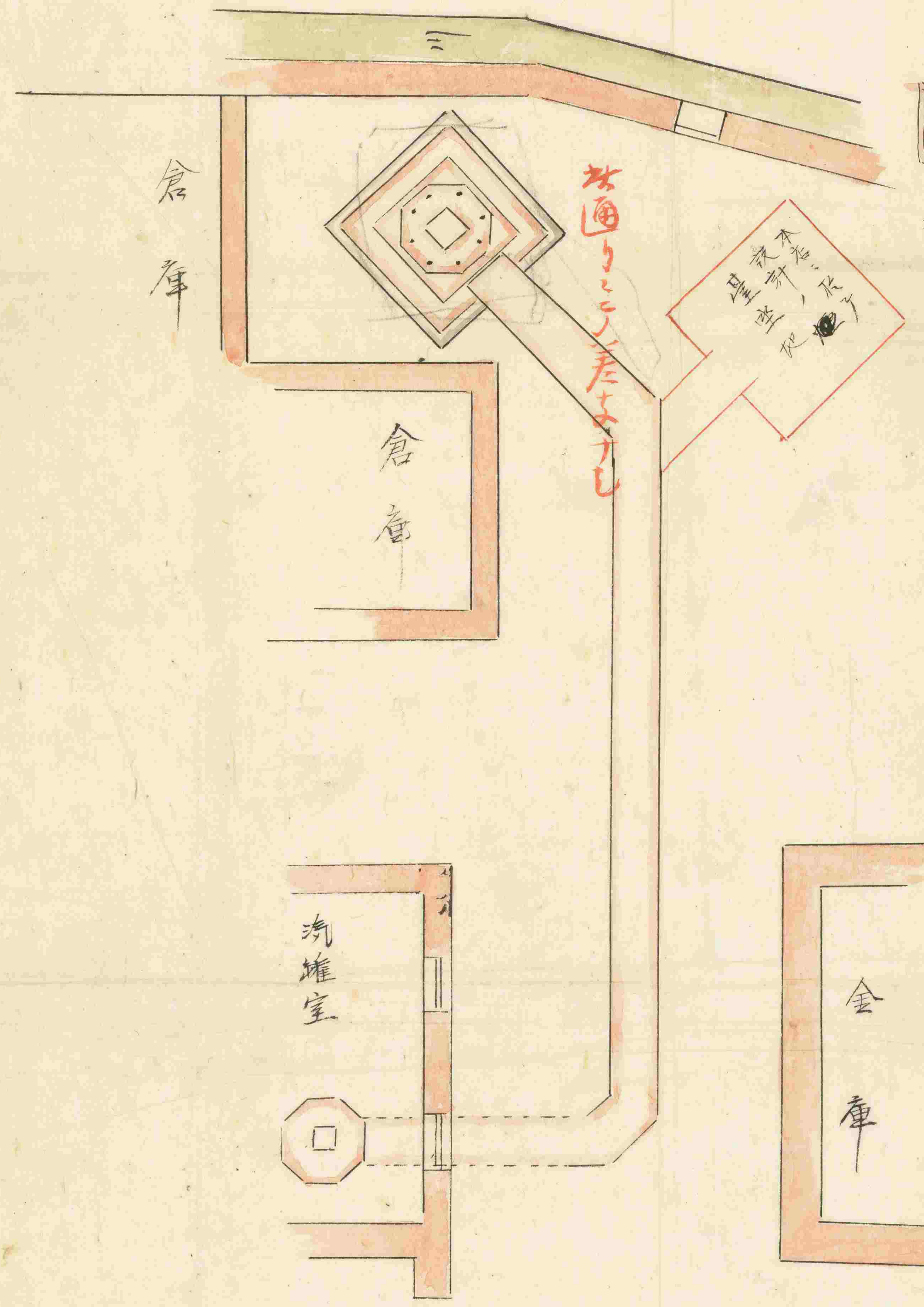

建設地
壁
現在煙突
第一掃除口（仮定）
壁
現在ノ掃除口
之ハ第一掃除口ヨリ水平ニ
林忠大技手

10-002


元小使室
煙突建設豫定地
倉庫

10-003

一煉瓦塀ニ沿ヒ十二間ノ物置新設及守衛休息所
取設ケノ必要アリ成ルヘクナラハ倉庫ノ後ロ手ノニ
場所ヲ新設ケタキ希望ナリ
若シ基礎工事ノ為メ左右倉庫及煉瓦塀ニ障害
ノ恐レアラハ  ヲ  ノ向キニ直シテハ如何ノモノニシカ



此通リニテ差支ナシ

~~一図面御手ノ寸法ハ鯨尺曲尺ト見ユルモ何レナルヤ~~
~~煙突御新設全部ハ實測曲尺ノ寸法ナルカ~~

一現在煙突ノ鉄部ハ下二段丈ケヲ使用スルノミニテ
其他ハ一切廃棄スル御見込ナルヤ
然リ

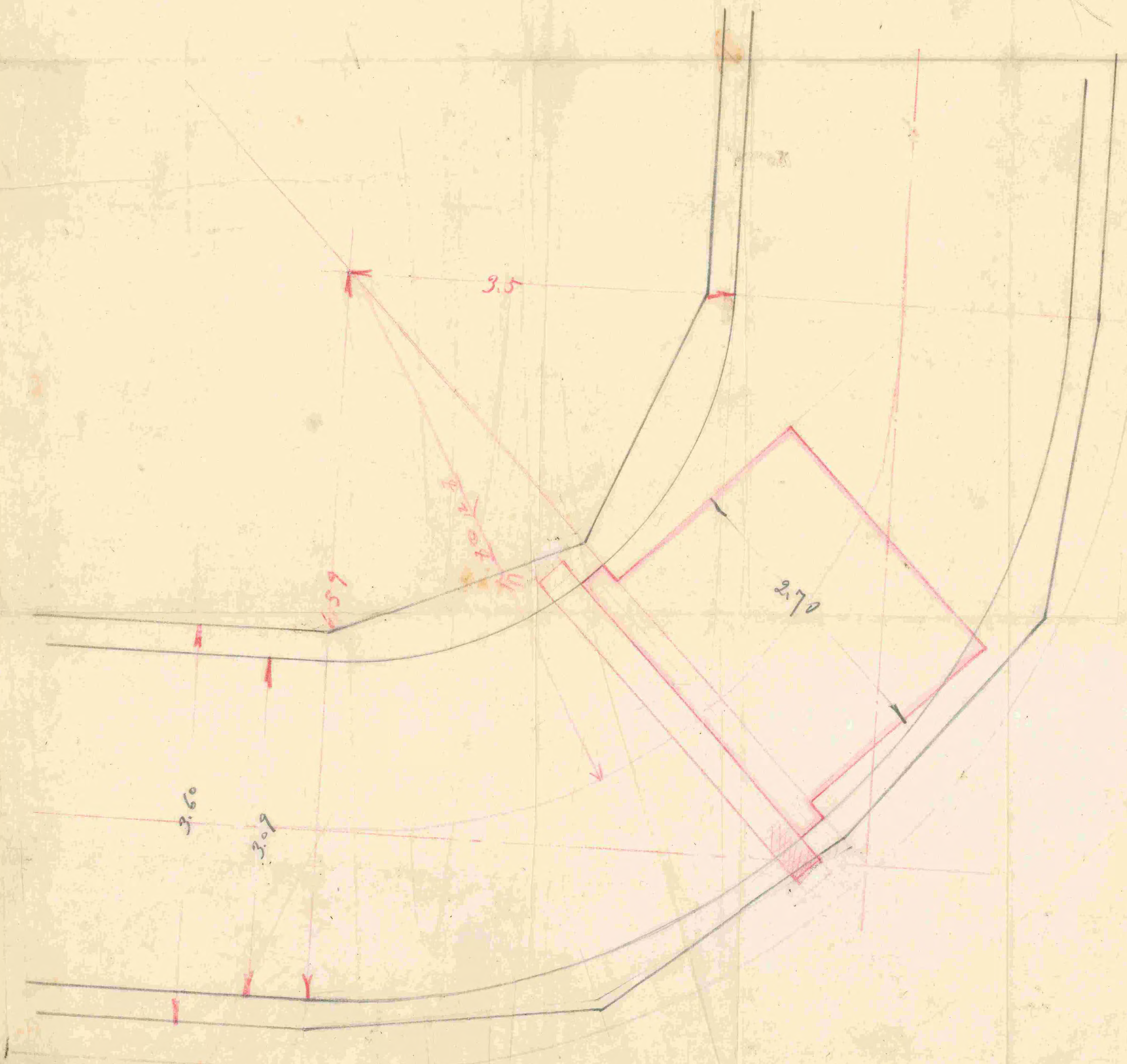
一避雷器ハ現在ノ銅線ニ継キ足シ其儘使用スル
御見込ナルヤ
然リ

一今回設計ノ煙突建設地ノ東方塀外ハ川ニシテ
其向フハ市街ナルヲ以テ支線ヲ施スコト困難
ナリ依テセメテ煙突ノ半バ位迄ニタラップ
並用ノ添棒ヲ施シ顛倒ヲ防ク方法ハ
アルマジキヤ
支線等ヲ用ヒズ其侭ニテ顛倒スルコトナキ設計ナリ

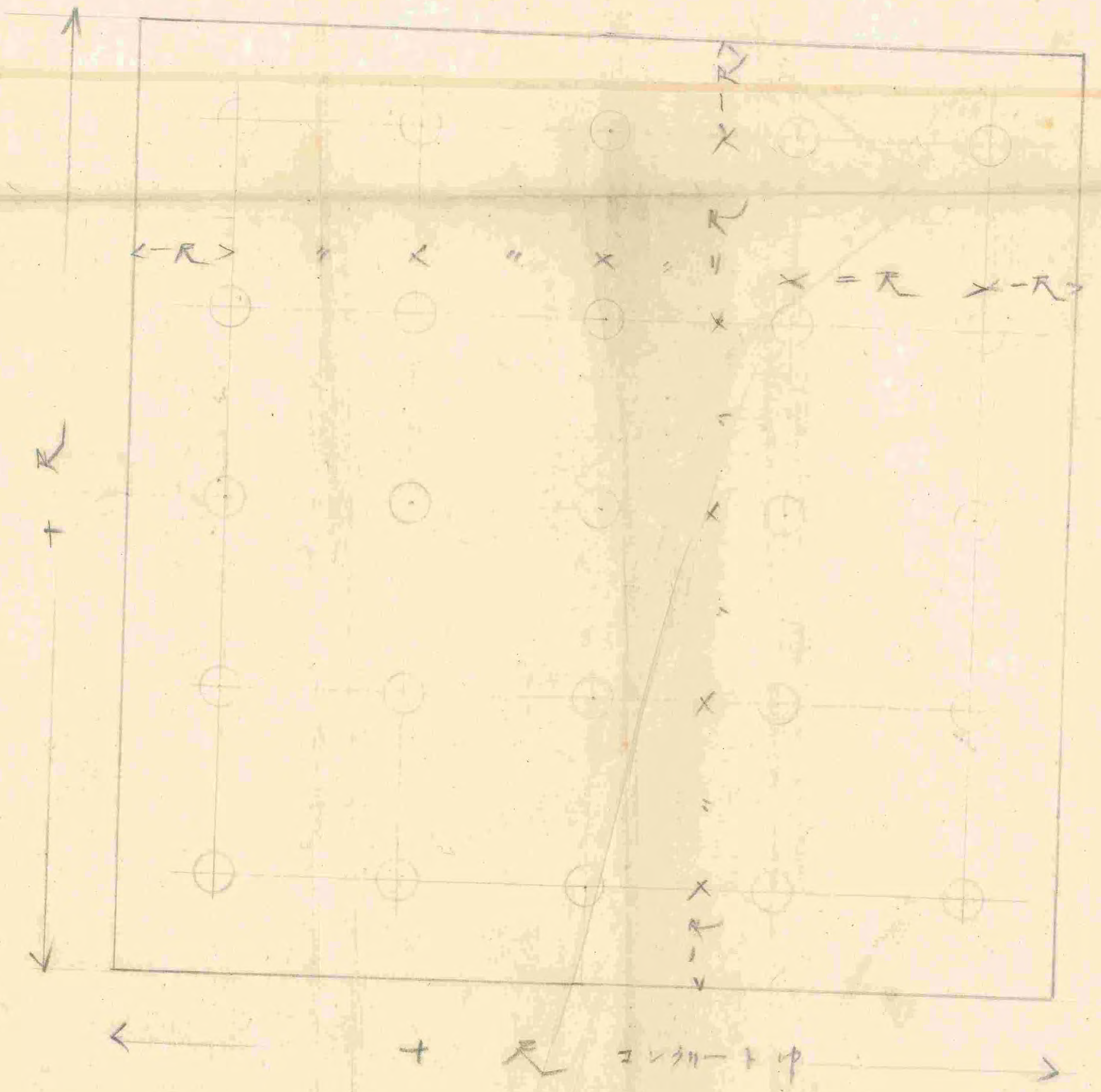
一煉瓦ノ数ハ何程ヲ要スル御見込ナルヤ各種類
毎ニ御示シ相願度之レハ見積書ヲ徴スル上ニ
於テ必要アリ
赤煉瓦弐千本耐火ニテ四百本位ノ見積

一本工事ハ梅雨ノ季節トナラヌ内ニ竣工スヘキ
様起工致シタシ鉄部ハ注文ニシテ其他ハ着手迄ニ
凡ソ幾日ヲ要スル御見込ナルヤ
二ケ月

一煙突掃除ハ一ケ月凡ソ何回位要スル御見込ナルヤ
当驛ニハ煙突取締規則ナルモノアリテ起工前種々
ノ手続ヲ御紀シテ願書ヲ差出シ認可ヲ得ル必要
アリテ材料ニ致シタシ
使用中一ケ月ニ二度位ニテ可ナルヘシ

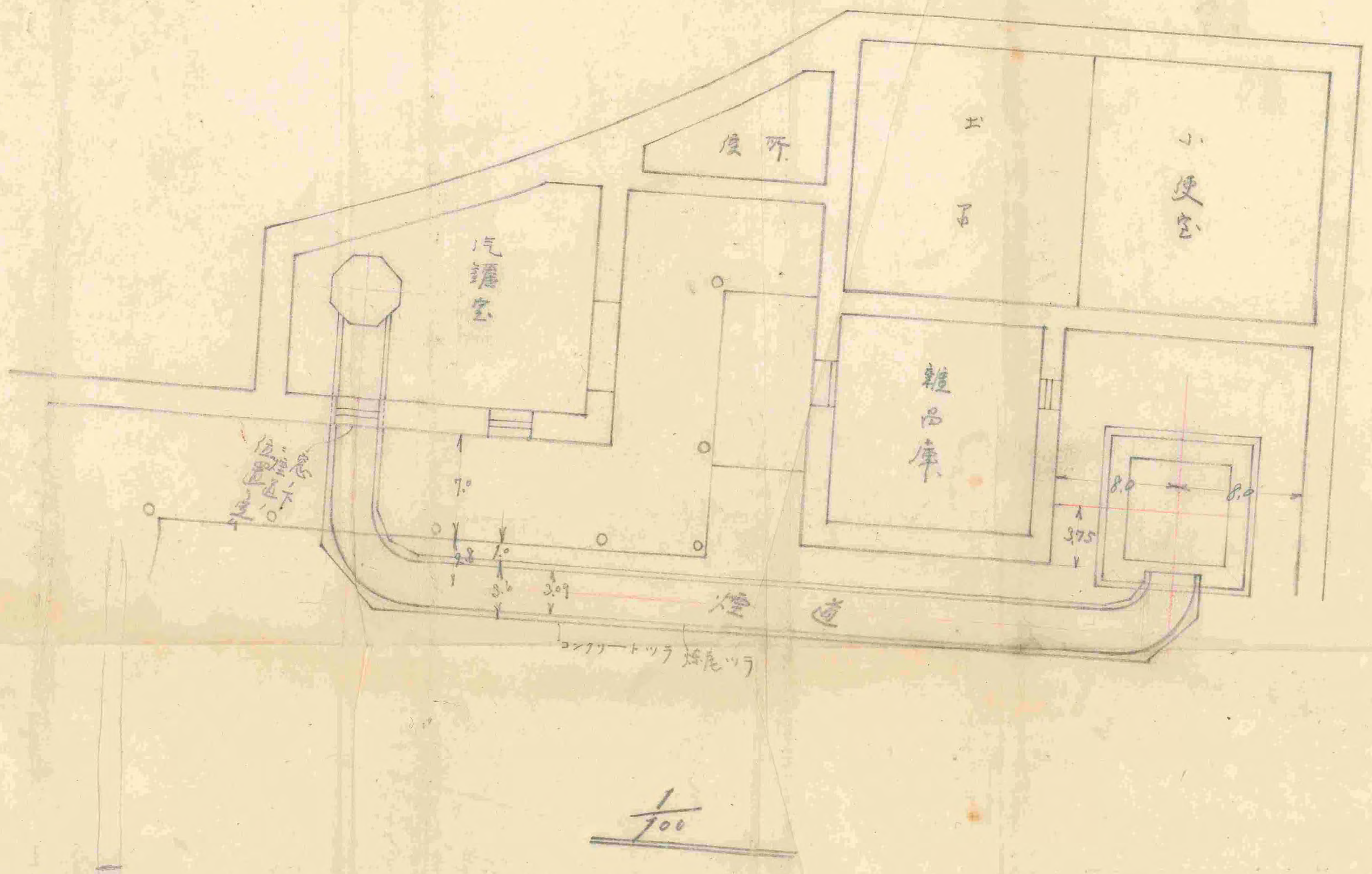

3.5
2.70
3.59
2.60
3.09

煙道カーブノ畫
縮尺於ける
―



地形杭割図

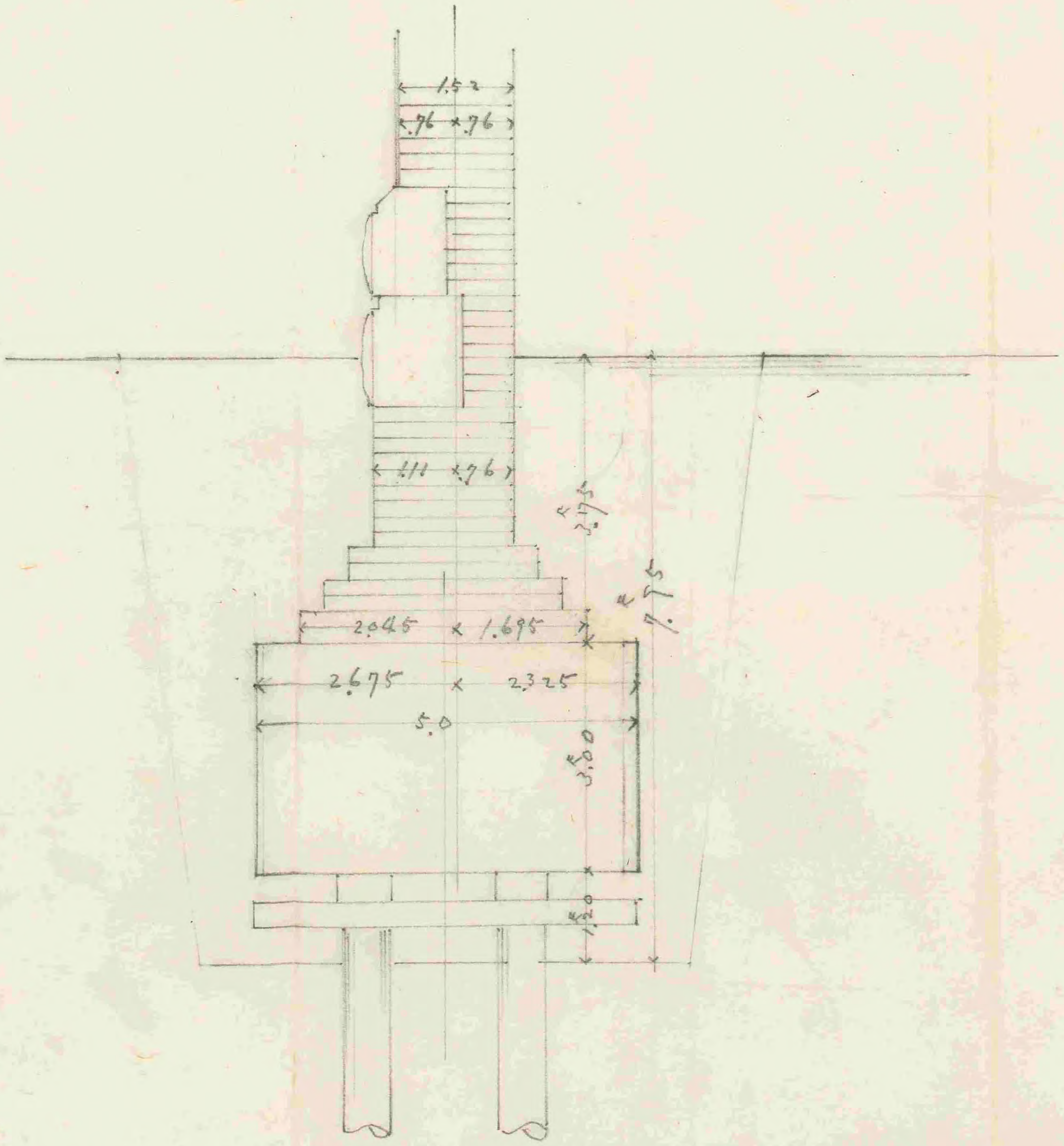
鉄管用地形ボールトハコンクリート中ニ埋込ミ不致ス候
中濱さや


便所
小使室
汽罐室
雑品庫
煙道
7.0
1.0
3.6
3.09
8.0
8.0
3.75
コンクリートツラ
煉瓦ツラ
1/100

金庫地形図面も後ニ増築致たるもの故也
当時ニ而右図面無之ニ付仍テ兼テ之ある分[illegible]

小使室地形面

廿五分之壹


1.52
.76 .76
1.11 .76
3.175
7.75
2.045 1.695
2.675 2.325
5.0
3.50
1.20

10-006